

実施日 ____月____日 ()

____年____組____番 氏名_____

友達からユウコの写真を求められました。 あなたは写真を送りますか？



高校に入学し、同じクラスのM・Kから、中学の時の同級生ユウコの写真を求められました。

卒業アルバムに載っていた写真を携帯で撮り、送ろうとしましたが、これはいいことなのか、考えてしまいました。

あなたならどうしますか？

設問1 あなたはどうしますか？

- ア 写真を送る。M・Kを応援したいから。
- イ 写真を送る。ユウコとは仲がよいので、無断でもまったく問題ないから。
- ウ 写真は撮らない。自分にはまったく利益がないから。
- エ 写真は撮らない。知らない人に自分の写真を送られたら嫌だと思ふし、他の人の写真を無断で渡すことは、マナー違反だから。

あなたの選択

正しい行動とその理由

設問2 説明を聞いて分かったことや大切だと思ったことを書きましょう。

【キーワード】 ・肖像権 ・無断撮影 ・利用目的 ・許可

写真やビデオを撮る場合には、相手に「許可を得る」ことが必要！

もちろん、配布する場合も同様です

★印：授業で学んだこと

肖像権とは、本人の承諾なしに無断で写真やビデオカメラに撮られたり、それら無断で公表したり、利用されたりすることのできないように、主張できる権利のことをいいます。（★）



●便利だけど、使い方には気をつけよう！

カメラつき携帯電話の普及により、いつでもどこでも写真が撮れ、プロフやブログに掲載することが簡単にできるようになりました。他人の写真を無断で撮影する行為は、肖像権を侵害すること（撮影された本人が親告した場合）になるとともに、心に深い傷を負わせてしまう場合もあります。肖像権とは、自分の顔や姿を勝手に撮影されたり、公表されたりしないように主張できる権利のことで、写真を撮影する場合は、相手に許可を得て迷惑をかけない（嫌な思いをさせない）ように配慮することがマナーです。もし、撮影した写真をブログなどに載せる場合は、トラブルを防止するために撮影の許可とは別に公開の許可を得ることも必要です。

●もう少し詳しく勉強しよう！

「新聞やテレビに個人の写真や映像が出ているのは??？」

有名人以外でも、「人格権」の一部としての肖像権は、アーティストやタレントに限らず誰にでも認められる権利です。ただし、社会的反響が大きい事件やニュースなどでは個人の肖像が無承諾で使用されることがあります。これは肖像権よりも公に報道することの方が優越的利益があるためで、肖像権はありますが、本人に許可を取らずに報道することが認められています。

日本には、肖像権に関して規定された明確な法律の条文はありません。その為、ケースによって裁判で争う場合もあるのです。一般人の場合、裁判までいくのはごく一部であり、あとは、裁判にかかる時間・手間などの損失などとの損得計算になってくるため、裁判せずにあきらめてしまうケースも多くあります。

【今日のポイント】	【肖像権に関わるトラブルへの対処方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・カメラやビデオで撮影する場合は、マナーとして必ず相手に許可を得ること。 ・撮影した写真や映像を公開する場合は、目的や利用場所などを伝えて、相手に理解してもらってから使用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無断で撮影されたものによって嫌な思いをする場合は、保護者や先生に相談すること。

実施日 ____月____日 ()

____年____組____番 氏名_____

友達からユウコの写真を求められました。 あなたは写真を送りますか？



中3の時の写真です。学校でも人気がありました。ライバルは多いと思うよ。がんばれ！

高校に入学し、同じクラスのM・Kから、中学の時の同級生ユウコの写真を求められました。

卒業アルバムに載っていた写真を携帯で撮り、送ろうとしましたが、これはいいことなのか、考えてしまいました。

あなたならどうしますか？

設問1 あなたはどうしますか？

- ア 写真を送る。M・Kを応援したいから。
- イ 写真を送る。ユウコとは仲がよいので、無断でもまったく問題ないから。
- ウ 写真は撮らない。自分にはまったく利益がないから。
- エ 写真は撮らない。知らない人に自分の写真を送られたら嫌だと思し、他の人の写真を無断で渡すことは、マナー違反だから。

あなたの選択

正しい行動とその理由

設問2 説明を聞いて分かったことや大切だと思ったことを書きましょう。

【キーワード】 ・肖像権 ・無断撮影 ・利用目的 ・許可

指導のねらい

- ・携帯カメラを利用した撮影および撮影物の配布について、著作権や肖像権を意識させる。
- ・相手のことを気遣う思いやりの気持ちを育てる。

展 開

- 1 プリントを配布する。
- 2 実施日、名前を記入させる。
- 3 設問1を考えさせる
吹き出しを教師が読み、生徒に設問1を記入させる。
- 4 どの選択肢を選んだか、理由も含めて発表させる。
生徒と対話形式で進める。
- 5 左下の【解説】を説明。
- 6 正しい行動とその理由を記入させる。
正しい行動と理由は、「エ」
回答欄の下段に記入するよう指示する。
- 6 設問2を書かせる。
「印象に残ったこと」を書くように一言加える。
書き終わった人は、裏面を読んでいるように指示。
- 7 左下のポイントを確認する。
フリップでポイントを確認する。
- 8 プリントを回収する。

【角評説】

カメラつき携帯電話の普及により、いつでもどこでも写真が撮れ、写真を送信することも簡単にできるようになりました。しかし、他人の写真を無断で撮影する行為は、肖像権の侵害にあたる可能性があり、心に深い傷を負わせてしまう場合もあります。肖像権とは、自分の顔や姿を勝手に撮影されたり、公表されたりしないように主張できる権利のことで、写真を撮影する場合は、相手に許可を得て迷惑をかけない（嫌な思いをさせない）よう配慮することがマナーです。もちろん、許可なく撮影された写真を他の人に配布することも同様です。携帯の場合、転送を繰り返され、短時間で多くの人の手に渡る危険性もあるので、注意が必要です。

【今日のポイント】

- ・カメラやビデオで撮影する場合は、マナーとして必ず相手に許可を得ること。
- ・撮影した写真や映像を公開する場合は、目的や利用場所などを伝えて、相手に理解してもらってから使用すること。

【肖像権に関わるトラブルへの対処方法】

- ・無断で撮影されたものによって嫌な思いをする場合は、保護者や先生に相談すること。

写真やビデオを撮る場合には、相手に「許可を得る」ことが必要！

もちろん、配布する場合も同様です

★印：授業で学んだこと

肖像権とは、本人の承諾なしに無断で写真やビデオカメラに撮られたり、それら無断で公表したり、利用されたりすることのできないように、主張できる権利のことをいいます。（★）



●便利だけど、使い方には気をつけよう！

カメラつき携帯電話の普及により、いつでもどこでも写真が撮れ、プロフやブログに掲載することが簡単にできるようになりました。他人の写真を無断で撮影する行為は、肖像権を侵害すること（撮影された本人が親告した場合）になるとともに、心に深い傷を負わせてしまう場合もあります。肖像権とは、自分の顔や姿を勝手に撮影されたり、公表されたりしないように主張できる権利のことで、写真を撮影する場合は、相手に許可を得て迷惑をかけない（嫌な思いをさせない）ように配慮することがマナーです。もし、撮影した写真をブログなどに載せる場合は、トラブルを防止するために撮影の許可とは別に公開の許可を得ることも必要です。

●もう少し詳しく勉強しよう！

「新聞やテレビに個人の写真や映像が出ているのは??？」

有名人以外でも、「人格権」の一部としての肖像権は、アーティストやタレントに限らず誰にでも認められる権利です。ただし、社会的反響が大きい事件やニュースなどでは個人の肖像が無許諾で使用されることがあります。これは肖像権よりも公に報道することの方が優越的利益があるためで、肖像権はありますが、本人に許可を取らずに報道することが認められています。

日本には、肖像権に関して規定された明確な法律の条文はありません。その為、ケースによって裁判で争う場合もあるのです。一般人の場合、裁判までいくのはごく一部であり、あとは、裁判にかかる時間・手間などの損失などとの損得計算になってくるため、裁判せずにあきらめてしまうケースも多くあります。

【今日のポイント】	【肖像権に関わるトラブルへの対処方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・カメラやビデオで撮影する場合は、マナーとして必ず相手に許可を得ること。 ・撮影した写真や映像を公開する場合は、目的や利用場所などを伝えて、相手に理解してもらってから使用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無断で撮影されたものによって嫌な思いをする場合は、保護者や先生に相談すること。